

授業の概要

- ・学校の「先取り」を基本とします。学校で初めて習う際「もうわかってる♪」という状態を目指します。
- ・「英語」「数学」は、ほぼ毎回、前回授業内容の理解度テストを行います。(不合格者は補習)
- ・「理科社会」は、理科メインの授業となります。定期テストが近づくと、社会も含めてテストを連発します。
- ・「国語」だけは、学校の教科書とは関係のない内容です。読解力や記述力を強化します。「頭が良くなる」授業です。
- ・定期テストが近づくと、先取りを止め、先取りした範囲(テスト範囲)の反復学習をし、定着を図ります。
- ・定期テスト約10日前から「テスト対策期間」となり、通常授業はストップし、強制自習となります。
- ・受講いただいている科目のみ、「テスト対策期間」中、テスト対策教材を差し上げます。
- ・中3生は、定期テストの点が「内申点・評定」に直結し、1回1回の授業の重さは中1・中2と比べて重くなります。
- ・中3生は、夏期講習と2学期以降は受験勉強モードとなります。

中1・中2国語

- …… 新しく知る言葉を、どう利用するべきか、前後の内容から読み取りつつ、楽しく学ぶ。多様な文章を読み解き、知的好奇心を刺激しつつ、「理屈で考えられる力」を養う。また、作文を楽しむ。

中1数学

- …… 1学期のうちに中1で習う計算系の分野を網羅。以降、反復学習をしながら、先取り。基本をとことん身につけ、中2以降で要求される応用力の土台をつくる。



中1英語

- …… 入学までに英作文をレベル別に、大量に解き、勝手に手が動く状態を目指す。単語を覚えることに慣れる。入学後は、教科書の本文を自力で英作文できる状態を目指す。中1が一番大変です。が、得意科目を死守。

中1理科社会

- …… 理科・社会ともに「どう勉強したらいいのかわかりづらい教科。大量の教材を解き、「覚えよう」とするよりも「解く」ことで得点力を強化。「解く」ほど、点は上がります。

中2数学

- …… 1学期が始まるまでに、計算系は網羅。夏期講習では難しい「一次関数」を自分のものにする。2学期以降、「証明問題」へ。脱落者の多い分野だが、とことん特訓し、得意分野とする。

中2英語

- …… 多種多様なタイプの文法が、入れ替わり立ち代わり襲い掛かって来るが、大量の問題演習で馴れる。教科書本文を自力で英語に訳すテストを毎回行い、難しい文法・単語も自分のものにする。

中2理科社会

- …… 理科の難度がぐんと増す中2。覚えることが多く、計算問題も増える。とくに、「電気」は中学理科最難分野。大量の教材を解き、「覚えよう」とするよりも「解く」ことで得点力を強化。理社ともに得意科目とする。

中3数学

- …… 定期テストで学校の先生にアピールできるよう、抜かりなく。難度はもちろん上がるが、自分のものにする。2学期期末以降、毎回都立入試の模擬問題を解き、確かな得点力を持って受験へ。

中3英語

- …… 夏期講習までに中3で習う主要難文法はひととおり定着させる。夏期講習以降、長文を和訳することをルーチンワークとしてもらう。都立入試は長文読解の速さ勝負です。

中3理科社会

- …… 2学期の始めには中3の主要範囲は網羅。理社ともに、大量の問題をこなすことで、得点力を得る。都立入試では理社ともに頼りになる科目(上がってしまえば下がりにくい)。講習では特に時間を割きます。

中3国語

- …… 都立入試で高得点を獲るには、冷静な読解力が要求される。じつは一番頭を使う教科です。難しい文章や、都立入試特有の問題にたくさん触れて、理屈で考える訓練をします。